

2026 年 7 月 24 日

各 位

2026 年 12 月期第 2 四半期連結決算

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、本日、2026 年 12 月期第 2 四半期連結決算を発表しました。

- Core 売上収益は 6,633 億円（前年同期比 14.7%増）、Core 営業利益は 3,291 億円（同 21.0%増）、Core 四半期利益は 2,384 億円（同 23.2%増）
- 国内外ともに製商品売上が順調に伸長したことに加え、その他の売上収益が一時金収入、ヘムライブラ®および NEMLUVIO®のロイヤルティ収入により大きく増加し、前年同期比で増収増益を達成
- 上期に国内における承認申請を 8 件達成。過去最高の申請計画達成に向けて順調に進捗
- 研究開発活動は、自社創製品をはじめとする開発早期・後期で着実に進捗
 - ・ 次世代の成長ドライバーとして期待する NXT007 について、2 本の第 III 相試験を開始
 - ・ 中分子プロジェクトの 3 つ目となる AQUA07 が臨床入り。ALK 陽性非小細胞肺癌を対象に、まもなく第 I 相試験の投与を開始
 - ・ 独自の抗体エンジニアリング技術を用いたエンスプリング®について、甲状腺眼症（TED）に対し、米国 FDA が申請を受理し、優先審査対象に指定
- 第三者導出品の状況として、自社創製グローバル新製品の市場浸透が進む
 - ・ ガルデルマに導出したヒト化抗ヒト IL-31 受容体 A モノクローナル抗体 NEMLUVIO（一般名：ネモリズムブ）の輸出売上とロイヤルティ収入が収益成長を牽引
 - ・ イーライリリーに導出した経口 GLP-1 受容体作動薬 Foundayo™（一般名：オルホルグリプロン）が、米国において GLP-1 製剤の使用経験がない方を中心に処方が進み、経口肥満症薬の市場は拡大傾向。本第 2 四半期より当社へのロイヤルティ収入の計上開始

決算の詳細については、以下をご覧ください。

決算短信・補足資料

https://www.chugai-pharm.co.jp/ir/reports_downloads/tanshin.html

決算説明会資料

当社の業績動向に加え、研究開発パイプラインの進捗等をご確認いただけます。後日、動画およびスクリプトを掲載します。

<https://www.chugai-pharm.co.jp/media/conference.html>

【2026 年 12 月期 1-6 月実績】

Core 実績【億円】	2026 年 1-6 月	2025 年 1-6 月	前年同期比
売上収益	6,633	5,785	+14.7%
国内製商品売上高	2,379	2,233	+6.5%
海外製商品売上高	3,286	2,881	+14.1%
その他の売上収益	968	670	+44.5%
営業利益	3,291	2,720	+21.0%
中間利益	2,384	1,935	+23.2%

以上